

# 当面の技術対策（畜産編）

令和元年7月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1. 乳牛の暑熱対策

乳牛の暑熱ストレスにより採食量の低下などが起こります。影響を最小限に抑えられるよう、下記の対策を行いましょ。う。

### （1）飼料給与対策

- ①飼槽や水槽は毎日掃除して清潔な状態に保ちましょ。う。水槽の汚れを落とすには重曹（炭酸水素ナトリウム）が効果的です。また、簡易水槽の増設等で、水を十分に飲めるようにましょ。う。
- ②飼料は給与回数、掃き寄せ回数を増やす等して採食量の向上を図りましょ。う。また、塩の給与も必要です。固形塩が無くなっていないかこまめにチェックましょ。う。
- ③重曹の給与やビタミン剤の増給も有効ですので検討ましょ。う。

### （2）二次発酵の防止

サイレーを上から削るように取り出すことにより空気の侵入を最小にし、二次発酵を抑制ましょ。う。TMRはできるだけ給餌の直前に混合するようましょ。う。

## 2. 衛生的乳質の管理

気温と湿度の上昇で、畜舎内に細菌が増殖しやすくなります。下記の対策を行いましょ。う。

- （1）大腸菌性乳房炎が増加する時期です。いつもより除ふん作業を強化ましょ。う。除ふん後は牛床に消石灰を散布し敷料を補充ましょ。う。
- （2）生乳中の細菌数を確認し、異常を発見したらミルカーシステムの洗浄・殺菌工程に問題がないかチェックましょ。う。
  - ①搾乳機器の洗浄及び殺菌は、定められた洗剤・殺菌剤の濃度と水温を厳守ましょ。う。
  - ②分解可能な部品については、定期的な点検・交換を忘れずに行いましょ。う。
- （3）搾乳前にはバルククーラー冷却装置の起動、排出コックの確認など見落としやすい作業を確実に確認ましょ。う。
- （4）抗生物質混入防止のため治療牛のマーキング（カラースプレーやマークバンド等）を確実にに行い、作業従事者間での情報共有を徹底ましょ。う。

### 生乳の抗菌性物質・残留事故ストップ

治療薬、抗生物質を使用した場合、個体牛のマーキング、記帳を忘れずに